

案 3

仕 様 書

1. 件名 電話機及び電話交換機の調達・交換作業
2. 施工場所 東京都千代田区霞が関一丁目3番1号 経済産業省別館11階（以下、「別館」と表記する。）
東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 大同生命ビル6階（以下、「分室」と表記する。）
3. 施工期間 契約の翌日から 令和2年3月15日まで。
4. 施工内容 別館及び分室における既設の電話機・電話交換機を撤去・廃棄し、新しい電話機・電話交換機を設置し、必要な設定を行うこと。なお、交換作業は土日祝祭日に行い、発注者の平日における業務に支障のないようにすること。
5. 機器内容 主な内容は下記の通りとする。
機器は、同等品又は、同等品以上とする。
 - 1) 更新主装置容量（実装数）
 - ①ISDN64回線：12回線
 - ②アナログ回線：16回線（内8回線は経済産業省内線）
 - ③多機能電話機内線：128回線
 - ④IP多機能電話機内線：35回線＜分室内線端末用＞
※電源の供給については、以下 a) もしくは b) にて行う。
a) 8ポート給電 HUB：8台を見込む。
b) IP多機能電話機側で電源供給する（ACアダプターを使用する。）。
 - ⑤一般電話機内線：16回線
 - ⑥停電対応時間：10分
 - 2) 配 線
既設配線を再利用とする（別館電話機のモジュールケーブルは交換すること。なお、交換が物理的に難しい箇所がある場合については、発注者に相談する。ただし、分室電話機のパッチケーブルは交換不要とする。）。
 - 3) 発生材処理
監督員が指示するもの以外は請負者が処分すること。
6. 施工条件
 - 1) 施工は、監督員又は担当者と十分打ち合せの上行なうこと。
 - 2) 本施工にあつては、安全対策を十分に行い、職員及び利用者の危険防止に努めると共に、日常生活の支障のないように、各施設の担当者と打ち合せの上行なうこと。
 - 3) 取付位置（別紙「座席表（別館）」及び別紙「座席表（分室）」）は参照とし、充分調査の上確定とする。
 - 4) 別館（主装置室）から分室（執務室）間も、既存配線を使用する。

7. 機能 別紙設計図書による。なお、特に定めのないものは制作者の標準とする。

8. その他 別紙設計図書による。

特記仕様書

第一章

1. 1 施工管理

本施工においては、現場責任者を選任し、現場管理をすること。

1. 2 経費

次の経費は、請負者の負担とする。

1) 制作及び施工に先立ち実施する現地調査に要する費用

2) 既存機器の取り外し、発生材の処分に要する費用

1. 3 発生材の処分

請負者は、旧設備、旧電話機及び配線、付属品等本工事に関しての発生材の処分を適正に処分しなければならない。

1. 4 設計図書にない事項

本工事の設計図書に定めない事項については、発注者と請負者の協議の上定めるものとする。

第二章 施工

2. 1 現地で使用する光熱費

現地で使用する電機等の光熱費は、発注者の負担とする。

2. 2 現地調査

請負者は、既存設備、既存ケーブルの現場調査を行うこと。

2. 4 新旧設備切替

新旧設備の切替は、監督員又は現場担当者と打ち合せの上行うこと。

第一章 試験調整

3. 1 材 料

請負者は、本施工に使用する材料のうち、施工監理者が指定する以外材料について、担当者の確認を受けるものとする。

3. 2 主装置における検査

主装置は、機能を十分確認した上で、請負者の負担において、単体試験を行う。

3. 4 総合試験

請負者は、現地での施工が完了した場合、設定状況及び設備が十分に機能していることを確認するための総合試験を実施しなければならない。

試験項目については、事前に担当者と協議する。

第四章 仕 様

4. 1 使用機器の事前承認

請負者は、監督員又は、担当者に対し、本施工に使用する主装置及び電話機のカタログ等資料の上、承諾を得なければならない。

4. 2 回線種別及び回線数

設計図書参照のこと。

外線数

設計図書参照のこと。

4. 3 中継方式

設計図書参照のこと。

4. 4 主装置（内線数）

設計図書参照

内線表・設置場所は、別紙「座席表（別館）」及び別紙「座席表（分室）」の通り。

4. 5 サービス機能

設計図書を参照とする。

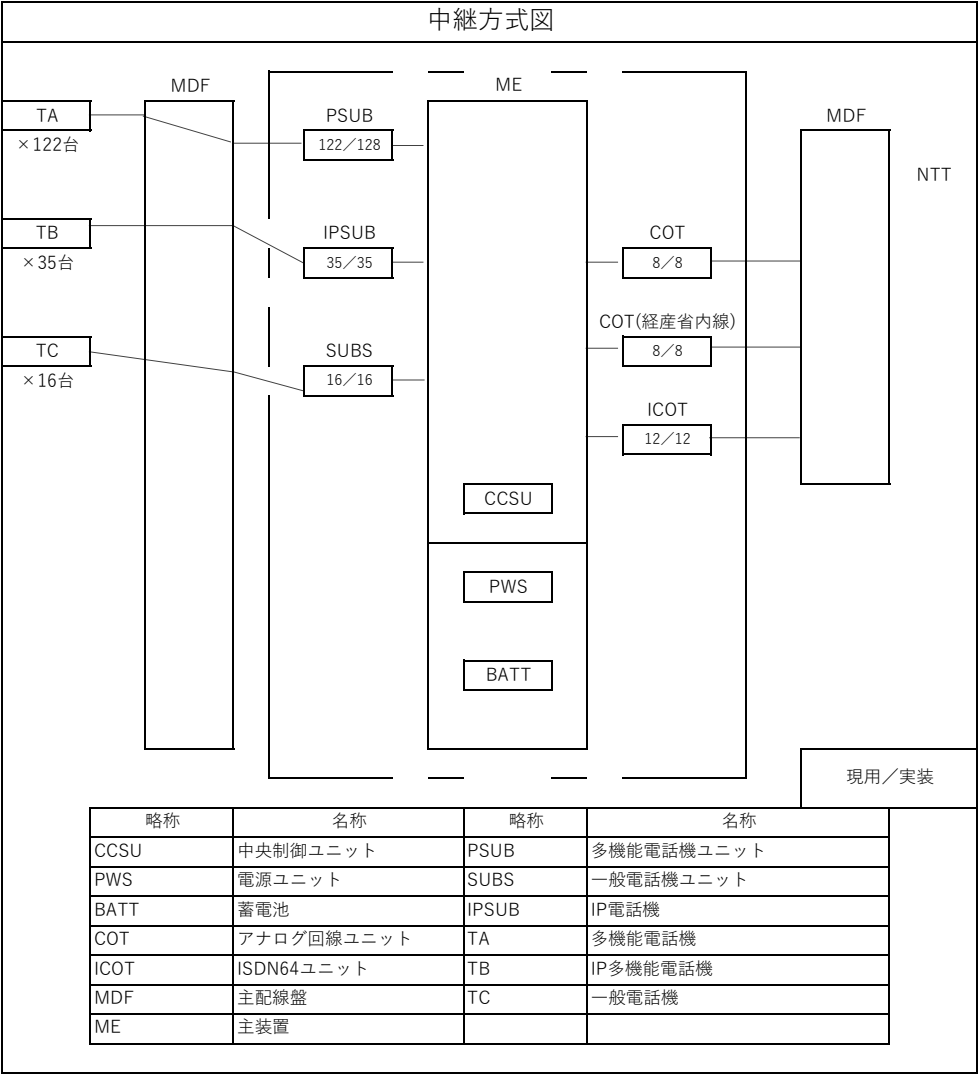
4. 6 その他の仕様

設計図書を参照とする

以 上

設計図書

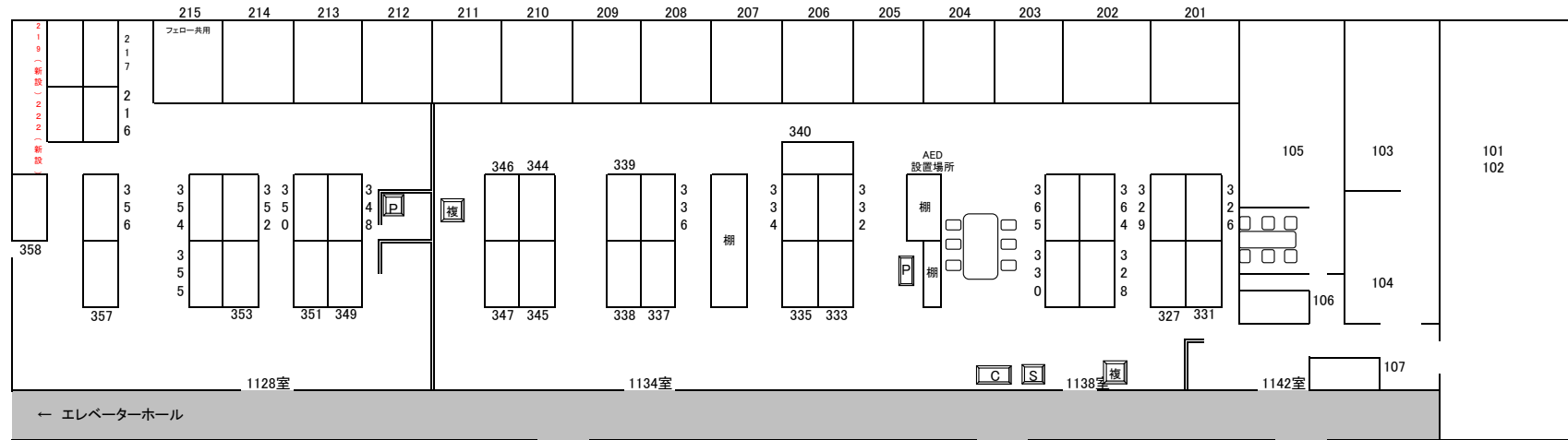
電話交換設備							
装	件名						
	形式	構内交換設備					
	制御方式	蓄積プログラム制御方式					
	通話路方式	PCM時分割方式					
	諸元	局線ダイヤル	DP（10、20PPS）／PB信号				
		線路抵抗	多機能電話機：300m以下 400Ω以下（ループ）				
			一般電話機：ループ抵抗 600Ω以下（ループ）				
		その他	製作者標準仕様による				
	収容回線		容量	実装	現用	備考	
		アナログ局線	16	16	16	内8回線は経済産業省内線	
		ISDN64回線	12	12	12		
	電話機	多機能内線	128	128	122	内停電用電話機1台	
		IP多機能内線	35	35	35		
		一般内線	16	16	16	既設再利用	
	機能	①機能内容に付いて仕様はこれによるものとする。					
		②特に定めないものは製作者の標準とする。					
		○ナンバーグループ			○ハウラー音送出／ラインロックアウト		
		○保留音送出			○時刻表示		
		○局線リダイヤル			○24ボタン		
		○プリセットダイヤル			○バックライト付き		
		○可変不在転送			○発信履歴・着信履歴付き		
		○代理応答			○内線通話規制		
		○多機能電話			○局線通話規制		
		○個別着信方式（DIL）			○その他：製作者標準		
		○ボイスメール機能（応答専用でも可、外付け可、同時6回線以上）					
		○電話帳登録			○内線呼び出しモード切替		
直流電源	整流器	方式	スイッチングレギュレータ式				
		入力	AC単相100±10V				
		出力	主装置容量による				
	蓄電池	容量	停電時通話保持：製作者標準				
予備品		製作者標準					
付属品							
電話機等	種別			取付	予備	計	備考
	多機能電話機	（表示付き）		122	0	122	24ボタン付き
	IP多機能電話機	（表示付き）		35	0	35	24ボタン付き
工事	機器 線路	□主装置据え付け 布線工事					
		□局データ 加入者データの作成及び打ち込み、立ち上げ					
		□ケーブル結線					
		□総合試験					



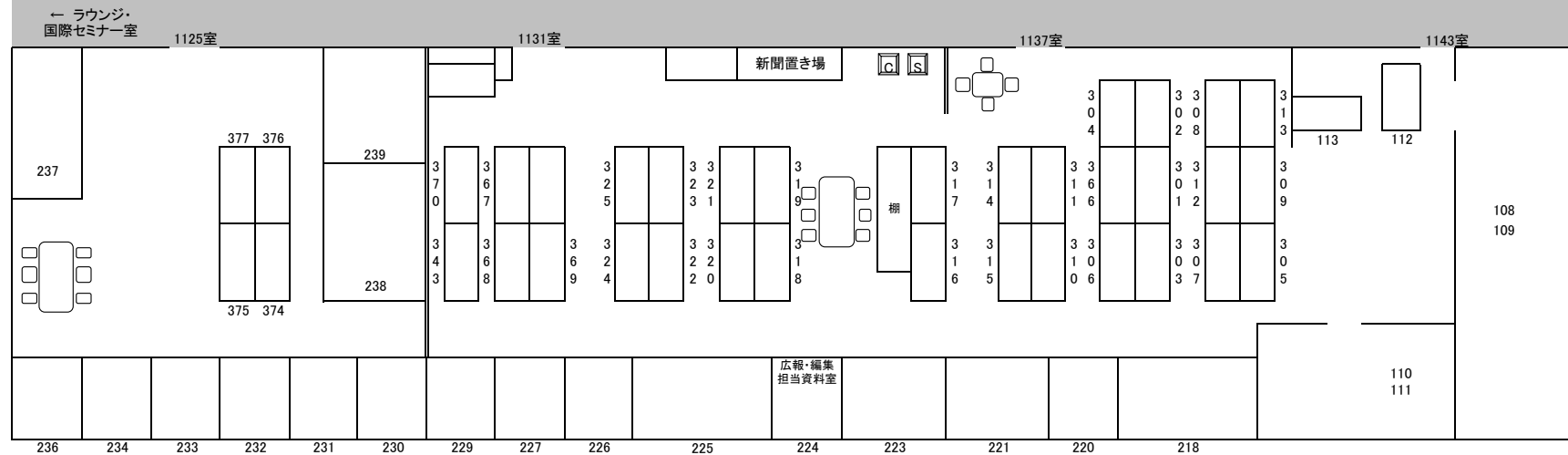
備考		工事名称	
		設計年月 令和 年 月	

(西)

座席表(別館)

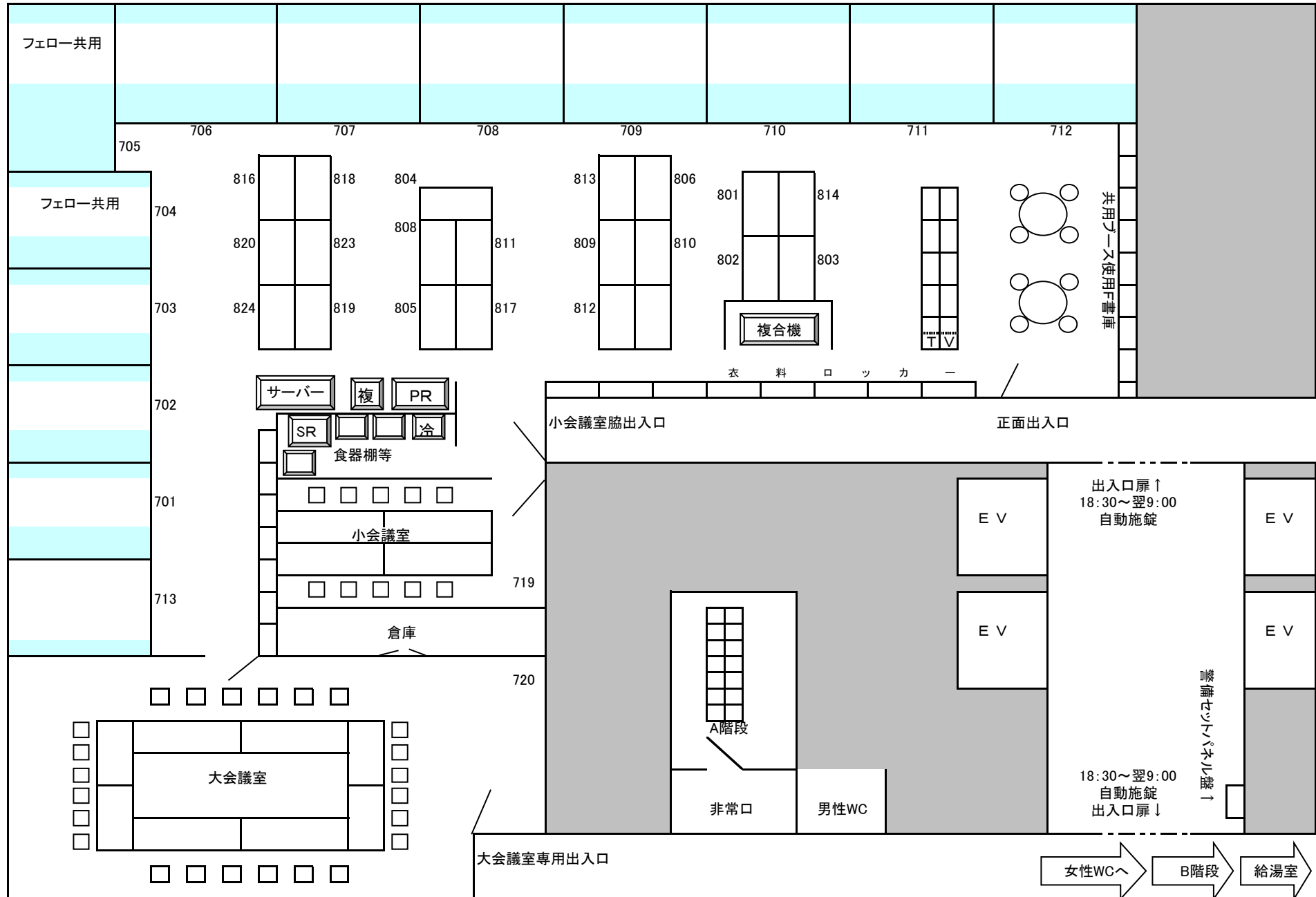


(東)



経済産業研究所 分室

20200917



参考

